

くずまき高原牧場まつり

青空と新緑に囲まれて

まちなかへっちょまっぴ

①力強い響きの源流太鼓
②これが「へっちょだんご」
③婦人会の皆さんが愛情を込めて準備しました
④携帯サイトのアクセス方法を説明をする県立大生
⑤へっちょだんごを「550グラム残して食べようゲーム」



平庭

つつじまつり



⑥色鮮やかなつつじ⑦つつじの苗をゲットしたよ⑧携帯サイトについて説明する県立大生⑨森のこだま館のバイキングも大好評⑩新登場・棒パンづくりに挑戦⑪押し花の作り方を教えてもらいました

①青空をバックにアンダーパスの歌声が響きます②ソフトクリームも飛ぶように売られています③吉ヶ沢小学校は手作りのフクロウなど販売体験④牛肉の丸焼きなどおいしいものをラジオで伝えます⑤芝生を気持ち良くはう幼児⑥牛乳ビンの中に豪華な景品の輪投げ⑦わーい宝をさがすぞ！⑧機関車も気持ちよく走ります⑨森のようちえんの写真展も同時開催⑩大道芸の音楽でノリノリに盛り上がりませ

者をびつくりさせています。まちなかで行われたへっちょまっぴでは、「へっちょだんご」が無料で振る舞われ、また商品券をかけて「へっちょだんご550グラムを残して食べようゲーム」が行われました。空き缶、プルタブ、廃油を持参するとニコちゃんポイントがもらえる環境にやさしい取り組みもありました。屋台村では、町村合併55周年にちなんで550円の商品が並びました。つつじまつりでは、体験コーナーが充実、棒パンづくりが新たに加わりました。くずまきワインや久慈市の特産品が当たるデジタルスタンプラリーでは、親子連れが平庭高原を駆け回り、ポイントになっている風景や建物を撮影していました。

6月12日と13日の2日間、「くずまき高原牧場まつり」と「つつじまつり」が、13日は「へっちょまっぴ」が開催されました。今年は何といても期間中、青空に恵まれ、町内外から訪れた家族連れなどが、葛巻の新緑を楽しみました。土谷川の「くずまき高原牧場まつり」会場には、たくさんさんのテントが並び、地元自治会などが朝早くから準備した郷土食や山田町からは、カキなど町内外から持ち寄られた特産品や農産品を販売。山と海の幸を堪能しました。IBCラジオ「大塚富夫のタウン」の生中継も行われ、総合司会を務めたモウモウブラザーズがまつりの盛況ぶりを町内外へ発信しました。特設ステージではNHKみんなのうたでおなじみ「たたりら」のアンダーパスや、盛岡吹奏楽団などの演奏が響きわたりました。会場内のあちらこちらでは、大道芸が来場